

第19回 文の京都市景観賞 一次選考 講評(景観創造賞)

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計(80点満点)	順位
17	創-4位	国際交流留学生プラザ	大塚2-20	新しいデザインの建造物であり、通りに面した壁面はインパクトを与える。壁面に予定されている緑が繁ったら周囲に与える印象がさらに良くなると思われる。	73	1位
				外壁の斬新なデザイン。非対称の紋様が見る者を落ち着かせる。		
				蔵造りの瓦を漆喰で縁取る小庇を思わせるメタルフレームが特徴の現代建築である。歴史性とモダンを融合する建築デザインとしてのチャレンジのようにも見える。大学のコンセプトに寄与し、また、周辺環境・景観にも貢献する建築、また、景観要素であるといえよう。		
				黒い網目状の波打つ横線が緩やかな坂に建つ建物に安定感を与えているのと、窓だけが並ぶ平凡な外観が人目を引かせる素晴らしい工夫だと思う。		
16-1 16-2	創-1位	東京カテドラル聖マリア大聖堂 東京カテドラル聖マリア大聖堂:鶴の舞	関口3-16-15	斬新な形状をもつ教会。透明性があり周辺との違和感はない。	71	2位
				目白新坂を上って真正面、空に突き抜ける直線的、金属感に空の青さ、雲の動きに思わず見上げてしまう。現代的で相応しい。		
				十字架の平面形状をもつ聖堂の美しいフォルムが、目白通り側から眺められるような建築配置的工夫がなされている。道路境界側に低い常緑と低層建築をカスケード状に配し、エントランス門扉前に奥行きあるスペースが設けられている。通り側の尖塔も景観的に効果的である。竣工して数十年経過するが、いまだに現代建築としての美的存在感を失わず、また、周辺の景観向上に、貢献している名建築であるといえよう。		
歴史ある建造物であるが先進的デザインが古びていない。周囲の環境によく配慮し良好な景観をつくっている。						

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (80点満点)	順位
10-1 10-2	創-8位	東京大学院・情報学環・福武ホール 福武ホールと「考える壁」	本郷7-3-1	<p>本郷通り沿いの東大敷地内のクスノキが建築にかからなように剪定されている。建物の設備機器置き場がルーバーで囲われ街路側の景観に配慮されている。</p> <p>東京大学外周のイチョウと楠の並木にはさまれた外壁にそった歩道。アカデミックな雰囲気がある。</p> <p>先進的であり、高さを抑えた設計でキャンパス内外に親しみやすい建物である。本郷通りに面した側では校内の楠並木が配慮されており、通りの景観形成に寄与している。</p> <p>本郷通りの銀杏並木と東大構内の枝を張った楠との高さの調和と枝振りに気遣った平たい屋根の水平直線的な建物は機能的であって美しい。</p>	66	3位
4	創-1位	文京総合体育館	本郷7-1-2	<p>外壁を覆う植栽と、ルーバーの裏に隠された排煙や消防隊進入等の機能。硬質な印象を受ける外観のなかで、緑の優しさと現代性を融合し、景観性と機能性の両立を図っているといえる建築である。</p> <p>東大龍岡門前、スポーツセンターらしい効率的建物外壁のデザインが面白い。</p> <p>壁面の植栽が無機質な黄色いルーバーのアクセントになっています。樹木も多く豊かな都市景観を感じる。</p> <p>正面壁面の植物の形成と木材に見える壁面デザインが斬新で全体として周囲に柔らかな印象を与える。</p>	63	4位

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (80点満点)	順位
13	創-13位	東洋文庫ミュージアム	本駒込2-28-21	美術館らしいデザインの建築物で、ユニークな正面の壁はとくに周囲に優れたデザイン性を提供している。	60	5位
				赤い柱が目を引き、近付くと多種類の素材の壁が組み合わさっている。漆喰や左官を感じるレリーフや2階以上の壁面に文字が見られ細工に見飽きない。		
				先進的なデザイン、東洋書籍のミュージアムらしい色。各所にこまかな工夫がなされているよう。		
				不忍通り側に巨大な壁面が屹立しているイメージであるが、外壁面を良く見ると、外装材に文字がレリーフとして彫られている他にも、様々なディテールが建築の全体デザインに寄与しているようだ。周辺環境へ重厚感ある景観を提供している建築である。		
9	創-6位	後楽二丁目西・東地区市街地再開発組合	後楽2-5-6	住友不動産ファーストタワーを中心とした先進的再開発地域。再開発以前の雰囲気が劇的に変わった。	49	6位
				歩き易い歩道の石畳と見渡せる広い空間のある建物だが、植栽に乏しく無機質さがある。		
				市街地再開発により造られた新たな街路に面して、公開空地が設けられている。その空地にクロガネモチの並木や低層の建屋が配置されており、旧街区に面する街路に対して、超高層ビルの巨大なスケール感が、ある程度抑えられているといえよう。		
都市の先進性は感じられ、植栽の設置で緑を強調している点は評価できる。新しいビルが目立っており、環境への配慮は十分とはいえない。						

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (80点満点)	順位
8	創-3位	希望の蔵	大塚3-7-14	<p>周辺の建物から異質。戦火によるものか、組石は黒ずんで所々欠けもあった。未来へ残したい希望として命名されたのか？</p> <p>外装を構成している石材のひび割れが、建物の歴史を感じさせる。現代的な高層ビルとの対比が面白い。</p> <p>古い蔵の建造物であるが、周りの先進的な建物の中にあって歴史的モニュメントとなっている。これからの都市景観を考える上で、古いものを大切にして景観として活かす方法を示唆する事例である。</p> <p>町中の土蔵。いつ作られたか不明。何が納められていたか想像をかき立てる。</p>	46	7位
14	創-5位	文京グリーンコート の八重桜	本駒込2-18-10	<p>桜の木々のエリアは雰囲気があるが、周りの新しい建造物が広く大きくて、景観効果は十分とはいえない。</p> <p>開園時間制限有り。空気の通りの良い理化学研究所跡地の再開発地域。緑が少ない。</p> <p>緑豊かな庭を配した不忍通り側に比べ、少し簡素な造りの南側公開空地であるが、その中に、八重桜が等間隔に植樹されている。今後、樹勢を維持し成長すれば、更に美しい彩りを添えるコートになるであろう。</p> <p>近代建築に歩き易い石畳の広場。桜の時期は華やかだろうか。葉のある季節にしても緑が少ない。冬は建物と芝で灰色になると想像する。</p>	42	8位

第19回 文の京都市景観賞 一次選考 講評(ふるさと景観賞)

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (80点満点)	順位
9	ふ-7位	文京スポーツセンターと運動広場	大塚3-29-2	<p>2年間のリフォーム後、昨年完成公開される。耐震補強がうまく構造の中に融和させている。</p> <p>贅沢なほど広く安全な区民の施設。公共の施設として考え抜かれて建設されているが、文京区らしさは感じられない。</p> <p>運動広場と特徴のある建物がよく調和している。緑に囲まれた建物の維持、改装も目立たないように配慮されている。自然と区民に親しまれる文化性に優れた建築となっている。</p> <p>近年、耐震改修等がなされたが、建築家の独特なデザインが損なわれておらず、緑豊かな公園の環境になじんでいる。</p>	62	1位
20	ふ-1位	和敬塾	目白台1-21	<p>学生寮らしく静寂なたたずまい。深い緑に囲まれている。</p> <p>種々の樹木が配されたアプローチが、通り側から目立っている。また、北側の側道に面する建築群の景観も素朴な味わいを醸し出している。</p> <p>深い森に入るように塾の建物に学生を誘う。雪の日は格別だろうが、普段は平凡に思える。</p> <p>周囲に対して緑豊かで、入口からは通りに静寂な空気を提供している。</p>	52	2位

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (80点満点)	順位
21	ふ-3位	しろへび坂	千駄木2-19	<p>スカイツリーが眺望できる貴重な場所となっている。急な階段坂で、坂の周囲の景観は特に優れたものではない。</p> <p>汐見小、文京八中の横の急坂。名前の由来不明。鷗外記念館から下る。急峻な坂道展望良し。</p> <p>急峻な階段坂からスカイツリーが見える。昔は高い建物もなく眺めが良かったと思う。何故白へび坂と言われるだろうか？</p> <p>ビルの谷間からスカイツリーが見える景観が面白い。急な階段に面する住宅で育てられている緑も坂の景観に大きく貢献している。</p>	48	3位
19	ふ-19位	齊藤荘とご近所さん	千石4-5-4	<p>昔ながらの4軒2階建て木造長屋。戦後の昭和の名残。</p> <p>高台にあって下町風情。文京区が古い町であり、営々と市井によって築かれて来た名残を感じます。</p> <p>前面道路に対し親和性の高い景観を提供している木造建築である。裏面の凹凸感ある建築の表情も不思議な魅力を有している。</p> <p>庶民的で身近な建物であり、古い木造の古民家・集合住宅が、周囲にも懐かしい昭和の雰囲気を提供している。</p>	47	4位

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (80点満点)	順位
15	ふ-7位	清水橋(空橋)	本郷6-12 西片2-1	<p>台地と台地をつなぐ、橋下は道路。本郷台地から白山通りに下る坂道に架けられた橋は、昔から人の往来が多くて造られたのかと思う。</p> <p>言問通り台町と西片町をつなぐ陸橋。近年架け替え工事終了</p> <p>改修されたばかりの陸橋であり綺麗で、周囲の住宅とも調和しており親しみやすい外観である。</p> <p>架け替えられても、周辺空間の景観的雰囲気が損なわれていない。</p>	45	5位
14	ふ-3位	千石緑地	千石1-6-23	<p>徳川家の所有であったが、現在は自然林と遊歩木道の300~500坪緑地林の臭いがただよ。</p> <p>高くそびえる大木に囲まれ、歩道も完備されているので歩き易い。歩道のお陰で木の根元も守られている。</p> <p>緑の豊かなエリアで、周囲には貴重な景観となっている。利用時間が制限されている。</p> <p>踏圧のかからないふくよかな土壌の上に、種々の樹木が生育する雑木林が見事に保存されている。周囲の共同住宅等との関係が気になるところだが、北側の共同住宅は南側の屋外空間に面し、西側の共同住宅は人や車のアプローチ動線が回り込むように配置されており、うまく調整されているようだ。</p>	20	6位

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (80点満点)	順位
22-1 22-2	ふ-6位	肥後細川庭園	目白台1-1	<p>目白台の傾斜地まで緑地が続いており、見事なデザインと管理の行き届いた庭園とともに、周辺の景観保全と促進におおいに貢献している公共スペースである。</p> <p>都会とは思えない、静かで手入れが行き届いた庭園。高い建物も目に入らず空も広い。</p> <p>よく手入れされた庭園で、ひとときの散策が楽しめるが利用時間が制限されており残念。</p> <p>大名庭園が美しく残されている。斜面の景観をうまく利用している。開園時間制限有る。</p>	20	7位

第19回文の京都市景観賞一次選考講評(景観づくり活動賞)

受付 番号	プレ選考 順位	名称	講評	計 (80点 満点)	順位
1	活-1位	護国寺骨董市とフリーマーケット	<p>現在まで継続的に行われており、骨董市とフリーマーケットを同時開催した点がユニーク。</p> <p>護国寺とフリーマーケットのコントラストが調和している。ちょっと閑散とした雰囲気も良い。</p> <p>定期的に長年続けている市のようなが、物のあふれている昨今、必要に応じて買物をする意識が強くなっていると思う。今までどおり続けていけるだろうか。</p> <p>骨董市は護国寺内で行われており、周辺都市景観へ貢献する景観要素として、やや希薄な存在であるように思う。</p>	40	1位

第19回文の京都市景観賞一次選考講評(景観広告賞)

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (80点満点)	順位
1	広-1位	本郷三原堂	本郷3-34-5	<p>人や車行き交う交差点にあつて、人目引かれる。信号待ちにウインドウショッピングできる鮮さもある。</p> <p>本郷三丁目交差点、和菓子の老舗。なじみの看板。</p> <p>通りの角面にショーウインドウを設けて、華やかで配慮された商品展示に工夫が見られる。伝統的な古い看板の掲示も周囲に落ち着いた印象を与えている。</p> <p>看板「三原堂」の字体が店の雰囲気を表している。また、小ぶりのピクチャーウインドウも好ましい。</p>	47	1位
3	広-2位	99ルート・デュ・ショコラ本郷店	本郷2-13-10	<p>色使いと素朴な建築の素材感と、シックな店名のレタリング等、チョコレート店らしいデザインでまとめられている。</p> <p>サインは繊細にデザインされている。建物からやや奥まったサインであり周囲への影響はあまりない。</p> <p>ビルのはざまにある目立たない店舗。構造上格式を感じる。</p> <p>大通りに面して、ビルのオフィスの中にこげ茶とゴールドの高級感ある店構え。過剰な看板もなく上等な建物に姿勢を正して入りたい。</p>	42	2位